

1 事業概要

事業の名称	城下町ナイト体験ツアーの実施 (既存観光コンテンツの磨き上げ)
事業実施期間	令和8年6月～令和9年2月
事業の背景・必要性	<p>本地域では、歴史的町並みや武家文化を活用した昼間のまち歩きツアーが長年実施されてきたが、参加者は日帰り観光客が中心であり、地域内消費額や宿泊率の向上には十分に結びついてこなかった。</p> <p>近年の旅行形態は、体験型・ストーリー型コンテンツへの関心の高まり、ナイトタイムエコノミーの拡大、訪日外国人旅行者の増加などにより変化している。</p> <p>既存の城下町ガイドツアーは文化資源として一定の評価を受けているものの、</p> <ul style="list-style-type: none">①夜間コンテンツの不足②外国人対応の不足③体験性の不足④地域事業者との経済連携の弱さ <p>といった課題があり、観光消費拡大という観点では改善の余地が大きい。</p> <p>そこで本事業では、既存の城下町ガイドツアーを基盤としながら、夜間演出・物語性・デジタル技術・食体験を組み合わせた高付加価値型の観光コンテンツへと再設計することで、宿泊誘発型の観光商品として磨き上げを図るものである。</p>

事業の具体的な内容（日時・期間・回数、実施場所・地域、ターゲット、活用する地域資源、入場料等、関係法令（※2）、事業実施のスケジュール等）

（1）ナイトタイムコンテンツ化

歴史的建造物や城下町の路地空間を活用し、ライトアップ、音声演出、ストーリーガイドを組み合わせた夜間ツアーを実施する。観光客が「城下町の夜」を体験できるように、通常非公開の施設や文化財の夜間特別公開を関係機関と連携して実施する。

（2）ストーリー型ガイドプログラムの再構築

歴史研究者や文化財専門家の監修のもと、武士文化や地域の歴史をテーマとした物語型ガイドプログラムを開発する。単なる解説型ガイドではなく、来訪者が物語を追体験する構成とする。

（3）地域飲食事業者との連携による食体験

ツアーの途中に地元食材を活用した軽食体験を組み込み、地域事業者の売上向上と観光消費拡大を図る。

（4）多言語対応・高付加価値化

英語ガイド養成、デジタル音声ガイドの導入、オンライン予約システム整備により、国内外の旅行者が参加しやすい環境を整える。

（5）実施スケジュール

6～7月：専門家招聘、コンテンツ設計

8～10月：試験実施（参加料〇円、月1回程度）、ガイド研修

11～12月：プロモーション及びモニターツアー（参加料〇円、月2回程度）

1～2月：本格実施（参加料〇円、月2回程度）及び効果検証

【関係法令】

食品衛生法（飲食提供）、道路交通法（夜間イベント時の安全確保）、文化財保護法（文化財施設利用）、旅行業法（旅行商品化の可能性）、著作権法（音声演出素材利用）など

※1 要綱別表第1の事業区分2「既存観光コンテンツの磨き上げ」の場合、既存の観光コンテンツの何を、どのように磨き上げるのかを明確に記載すること。（磨き上げ要素を含まない単なる従前の事業の継続実施にあたりと判断された場合、又は、交付決定後に磨き上げができないこととなった場合は補助金を交付しない。）

※2 関係法令とは、事業の実施に係る法的規制をいう。許認可の状況や警察・行政機関との協議状況を記載すること。

例：著作権法、商標法、食品衛生法、旅行業法、道路運送法、海上運送法、漁業法、道路交通法、不動産・動産所有者との使用許可など

2 広報

<p>ターゲットとなる観光客に観光コンテンツをPRするための広報媒体やプロモーション</p> <p>主なターゲットは以下とする。</p> <p>①首都圏・関西圏の歴史文化志向の旅行者</p> <p>②訪日外国人旅行者（欧米豪の文化体験志向層）</p> <p>③高付加価値旅行市場</p> <p>【広報手法】</p> <ul style="list-style-type: none">・観光WEBサイト及びSNS広告・旅行会社との連携商品造成・インフルエンサー招聘による情報発信・旅行博・観光商談会でのプロモーション・多言語プロモーション動画制作
--

3 安全対策

<p>地元住民や参加者等の安心・安全への配慮、参加者の傷害の発生等、問題発生時の対策</p> <p>夜間開催となるため、安全対策を重視し、以下のような対策を講じる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ガイド及びスタッフへの安全管理研修・参加者保険加入・警察及び自治体との事前協議・緊急時連絡体制の整備・照明設備及び誘導員配置・悪天候時の中止基準設定

4 事業によって期待される効果

具体的なKPI※	①	年間ツアー参加者数：初年度1,200人
	②	参加者1人当たり地域消費額：12,000円以上
	③	宿泊誘発率：30%以上
KPIの 検証方法	①	予約データ及び参加者カウント
	②	参加者アンケート調査
	③	宿泊施設との連携による利用実績分析

※ 事業により達成しようとする目標について、(集客人数、販売金額、地域経済への波及効果等、できるだけ定量的な目標)を3項目程度設定し、具体的に記載すること。(行が足りない場合は、追記して差し支えない。)

5 事業実施に係る業務の執行体制

実施主体：市観光協会

共同実施体：市観光振興課、市文化財課、市商工会議所、文化財保護団体

体制：事業統括責任者（市観光協会会長）

コンテンツ開発担当（市観光協会 ○○部長）

ガイド育成担当（市観光協会 ○○部長）

広報プロモーション担当（市観光協会 ○○業務担当）

安全管理担当（市観光協会 ○○業務担当）

併せて、歴史学研究者、観光マーケティング専門家をアドバイザーとして招聘する。

6 今年度事業終了後の展望（翌年度以降の事業実施計画の内容、K P I 設定や財源の確保方法等を詳細に記載すること。）

本事業は単年度のイベントとして完結するものではなく、地域における持続可能な観光コンテンツとして段階的に高度化し、将来的には地域の主要なナイトタイム観光商品として定着させることを目的としている。そのため、今年度はコンテンツの試験導入と市場検証の段階と位置付け、翌年度以降は事業規模の拡大及び観光商品の本格的な市場流通を目指す。

また、本事業は観光消費拡大を重視した取り組みであり、単なる来訪者数の増加ではなく、地域内での滞在時間延長、宿泊誘発、飲食・土産等の消費拡大を重要な成果指標として設定する。

さらに、地域事業者の参画を促進し、観光による地域経済循環強化を中長期的な目標とする。

(1) 翌年度

①実施計画の内容

翌年度は、今年度の試験実施結果を踏まえ、ツアーの実施回数を増やし、通年実施型の観光コンテンツとして確立することを目標とする。また、旅行会社との商品造成を進め、団体旅行・インバウンド旅行商品として販売することで、安定的な集客を図る。

具体的には以下の取組を実施する。

- ・月2回程度の定期開催から週1回開催への拡大
- ・旅行会社向けモニターツアーの実施
- ・英語ガイドの本格導入
- ・宿泊施設とのパッケージ商品の造成
- ・地域飲食店との連携強化による食体験の拡充

②前年度からの磨き上げ内容（何を、どのように磨き上げる計画か具体的に記載）

上記①のほか、今年度の参加者アンケートや専門家の評価に基づき、以下の点について改善を行う。

- ・ガイド内容のストーリー性強化
- ・演出照明の改善
- ・多言語案内の充実
- ・参加者導線の最適化
- ・予約システムの利便性向上

③K P I 設定と検証方法

具体的なK P I ※	①	年間ツアー参加者数：初年度2,000人
	②	宿泊誘発率：40%以上
	③	参加者満足度90%以上
K P I の 検証方法	①	予約システムデータ分析
	②	宿泊施設との連携によるデータ分析
	③	参加者アンケート調査

④事業の財源（見込み）

本件補助金のほか、

- ・参加料収入
- ・旅行会社商品販売収入
- ・観光協会事業運営費

(2) 翌々年度

①実施計画の内容

翌年度の実施結果を踏まえ、翌々年度には、本コンテンツを広域観光商品として展開し、複数市町村と連携した周遊型観光コンテンツとして発展させる。

②前年度からの磨き上げ内容（何を、どのように磨き上げる計画か具体的に記載）

- ・AR／デジタル技術の新規導入
- ・広域歴史ストーリー化への発展
- ・外国人向けプレミアムツアー造成

③K P I 設定と検証方法

具体的なK P I ※	①	年間ツアー参加者数：初年度3, 000人
	②	地域消費額：4, 000万円
	③	旅行商品化件数：10商品
K P I の 検証方法	①	予約システムデータ分析
	②	市と連携した統計調査
	③	旅行会社による商品造成実績

④事業の財源（見込み）

本件補助金のほか、

- ・参加料収入
- ・旅行会社商品販売収入
- ・観光協会事業運営費